

(1) 学習をつなぐ(「学び」の定着)

【仮説1】基礎学力の定着、言語力向上を目指す指導方法を工夫し、効果的な家庭学習について研究することで、確かな学力を身に付けることができるであろう。

学び方の習得

発達段階に応じたアクティブラーニング(協働的な学び方)を身に付ける。

『基礎基本確立期』(小学1年生～小学4年生)

『基礎基本定着期』(小学5年生～中学1年生)

『基礎基本活用期』(中学2年生～中学3年生)

個人学習

ペア学習

グループ学習

知識構成型ジグソー法による学習



1人で学ぶ



ペアで学ぶ



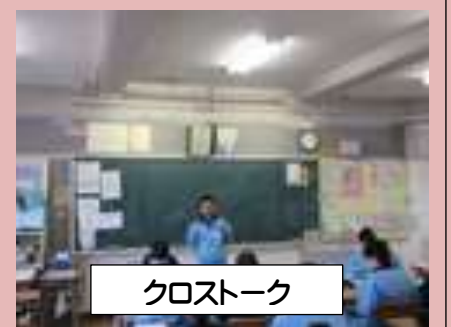
グループで学ぶ



エキスパート活動



ジグソー活動



クロストーク

自分の考えをまとめる

仲間との違いを発見する

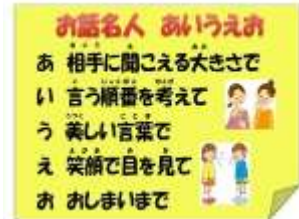
自分の考えを深め、広げる

言語力の向上

国語を核として言語力の向上を図り、「学ぶ基礎」を築く。

全教科・全領域で言語力向上を図り、「主体的に活用できる力」を身に付ける。

話すこと  
聞くこと  
書くこと  
読むこと



話形・ペアスピーチのやり方



校内掲示「言葉の森」「国語の広場」

- ・基本的な話し方、話合いのルール
- ・聞き方、インタビューの仕方
- ・メモの取り方、簡易書き要約
- ・文字資料の選択



ICTの有効活用



ホワイトボード活用

【話し方の原則】  
1 題名  
2 内容項目  
3 詳細(根拠)



【「振り返り」の書き方】  
1 事実 2 思い 3 課題

基礎・基本の定着

基礎的・基本的な内容の定着を図り、学力の向上を促進する。

基礎・基本の徹底

環境の整備・充実



立野オリンピックの取組(漢字・計算)



興味関心を高める掲示・ジャンプアップ問題

基礎・基本の徹底

- 英単語コンテスト
- 計算力コンテスト
- 漢字コンテスト
- 技能パフォーマンステスト

個別指導の充実

- 個人の課題に応じたきめ細かな指導
- ・補充プリント
- ・個別補習

継続的な取組

- ・朝読書
- ・作文指導
- ・全教科で「書く指導」の徹底

U・D化した授業実践



視覚化

「できる喜び」と「伸び」を、実感させる。

効果的な家庭学習

家庭学習の習慣化と自ら進んで学習する態度を育てる。

自らの課題を把握し、主体的な家庭学習の実践力を高める。

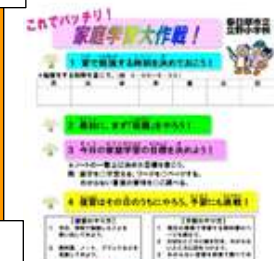
家庭学習の習慣化

宿題 + 家庭学習(自主学習)

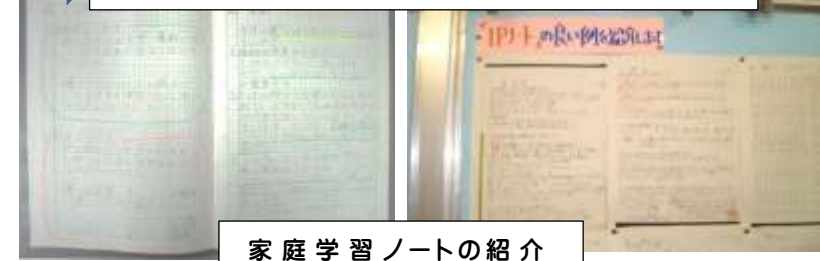
主体的な家庭学習(課題を把握し、計画、実行)



家庭への啓発と家庭学習がんばりカード



家庭学習ノートの紹介



個別面談



学力・学習状況調査等の結果から「今後の目標」設定